

プロジェクト設立希望書

作成：札幌市障がい福祉課 発達障がい担当 梅村

プロジェクト名	集中的支援（モデル実装）プロジェクト
プロジェクトの必要性	<p>本事業は、発達障害児者及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、発達障害児者の特性を踏まえた支援手法を開発するためのモデル事業を実施し、全国への普及に繋げることを目的とした国庫補助事業。</p> <p>札幌市では、令和5年度からメインテーマを『地域における強度行動障害者支援のための支援体制構築』としている。</p> <p>■1年目（令和5年度）の取組 強度行動障がい者を支援している事業所の「リーダ的人材」養成</p> <p>■2年目（令和6年度）の取組 札幌版集中的支援試行プログラム、広域的人材を想定したアセスメント手法の整理</p> <p>■3年目（令和7年度）の取組 札幌版集中的支援体制整備プログラム</p> <p>R8からの集中的支援の実装化に向け、コア会議（審査会）等を実施。プロジェクトの枠組みを活用し、来年度の体制整備を目指す。</p>
プロジェクトの期間	令和7年5月～令和8年3月
プロジェクトのメンバー	発達障害児者地域生活支援モデル事業 企画・推進委員 (学識者、医療、教育、障がい福祉等の関係機関)
プロジェクトの計画	<p>①札幌版集中的支援体制整備プログラム 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる等の職員が、札幌市で集中的支援の実装を想定し、事業所等へのアプローチやフォローアップ等の整理に向けた取り組みを実施</p> <p>②強度行動障害支援者向け研修会の実施 強度行動障がい者支援に携わる支援者向け研修会を2回/年実施</p> <p>■1回目 テーマ：本人を中心としたケアマネジメント 強度行動障がいのある方への相談支援 対象：相談支援事業所や相談支援専門員、強度行動障がい者支援にかかる支援者</p> <p>■2回目 テーマ：強度行動障がいのある方を支えるネットワークと人材育成 対象：事業所トップと現場リーダー、中核人材 等</p> <p>③企画・推進委員会の実施 ・札幌市内における強度行動障がい支援体制整備に係る検討を実施する。 ・今年度の事業計画・実施経過・結果報告の実施と検討を行う。</p>
期待される成果	<p>障害福祉サービスの報酬改定により、令和6年度より集中的支援加算が開始。強度行動障がいのある方への集中的支援について、札幌市における支援体制の整備、効果的で効率的な運用について検討が必要である。</p> <p>強度行動障がい児者の特性をアセスメントし、環境調整に向けた視点の整理や提案等が協議できる本取組は、強度行動障がいのある児者が安心して地域で生活することにつながる（事業所にとっては、個々人のアセスメントに基づいた標準的支援の理解につながる）と考える。</p> <p>また、「集中的支援」での効果的なアセスメント、支援方法のパッケージ例を全国に発信していくことで、強度行動障がい児者を受入れ、安定した生活を提供できる事業所の増加につながることを期待できる。</p>